

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、平素は、町政の推進につきまして、格別のご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私が三代目周防大島町長に就任し、早いもので三年が経過いたしました。この三年間は新型コロナウイルス感染症が、本町の運営に大きな影響を与えました。医療や福祉、教育を取り巻く状況が大きく変化し、人と人のつながりも様変わりいたしました。昨年五月以降は、各種イベントなどもコロナ禍前と同じ規模で開催するなど、その影響も徐々に減少し、町内に活気と賑わいが戻りつつあると感じているところです。

また、昨年は、ハワイ州カウアイ島と姉妹島提携から六十年という節目の年であり、十月には現地を訪問し、記念式典や各種イベントなどに参加させていただき、友好交流を次世代に引き継ぐことを双方で確認するとともに、更なる絆を深めることができました。

一方、人口減少や少子高齢化の進展、複雑多様化する住民ニーズへの対応、脱炭素などの環境問題といった課題に加え、物価高騰や人材不足等、施策を行う上での新たな課題にも直面しています。持続可能な行財政運営を確立に向けて、戦略的な未来への投資が必要であり、人材育成、行財政改革の更なるレベルアップが必要不可欠であり、町民の皆さまのためになる取り組みを提案し、実現に繋げてまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

私の任期も余すところ一年を切り、仕上げの段階に入ってまいりました。「住み続けたい安心・安全・充実を実感できる地域を築く」ための3つの柱「たのしい島」、「すみたい島」、「いきたい島」の実現に向けて「子育て・教育支援」、「安心・安全対策」、「未来につながる基盤強化」等の各種施策に、邁進するとともに、町民の皆さまが抱く希望や要望、ご意見を気楽に持ち寄り、全世代が主人公として共通意識を持てる工夫と仕掛けを考察し、実行してまいりたいと考えております。

新たな年を迎えるにあたり、これら課題への取り組みと、地域に密着した事業を中心に、勇気と真心を持って、皆さまと共に歴史と伝統ある周防大島町の繁栄と発展を目指し、全力で町政を運営してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和六年が町民の皆さまにとりまして最良の年となりますことを心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

周防大島町長 藤 本 淨 孝